

## 施策3-2 生涯を通じた読書活動の充実と支援

### ポイント

- 人生を豊かにする読書活動の支援
- 子どもが読書に親しめる環境づくり
- 障がい者や外国ルーツの人など、すべての人の読書活動の支援
- 知の拠点としての図書館機能の充実



#### 1 施策の方向性

- 読書は、幼少期の読み聞かせによる本との出会いにはじまり、生涯を通じて楽しむことができ、多くの知見にふれ、知識を向上させ、感性を磨き、人生を豊かにします。この読書活動を支援する取組を実施します。
- 子どもが読書に親しめるよう、読書の機会の積極的な提供、または学校、関係機関、民間団体などと連携した読書推進に取り組みます。
- 子どもが主体となって実施する活動や協働的な活動を支援する取組を推進します。
- 障がいのある人や、日本語を母語としない人など、すべての人の読書活動を支える取組を推進します。
- 図書館は、知の拠点としての機能を果たし、子育て世代をはじめとしたすべての区民が、豊かな時間を過ごせる空間をめざします。
- 子どもから大人まで、あらゆる人が本に親しみ、本を通じて自己、他者、そして社会・世界を理解し、交流と活動が生まれる場の創出をめざします。

#### 2 施策の成果指標

	項目	基準値	目標値	
		R7	中間 R12	最終 R17
1	区民1人あたりの図書館利用回数	5.2回	5.5回	5.8回
2	児童・生徒1人あたりの図書貸出冊数 (学校図書館)	児童 41.1冊	児童 44冊	児童 49冊
		生徒 4.0冊	生徒 4.4冊	生徒 4.8冊

3 施策に連なる事業

NO	001	事業	子どもの読書活動の推進（中央図書館）		
内容	<p>子どもが読書習慣を身につけ、自主的に読書活動を行うことをめざし、子どもの視点に立った取組や子どもが自由に本とふれあえる環境づくりを行います。また、多様な子どもに適応した読書環境の整備を進めます。</p>				
年度	令和8年度		令和9年度		令和10年度
別 計画	<p>①おすすめ本リストの作成 ②絵本のプレゼント事業の開始（旧ブックスタート事業から対象年齢の拡大などの変更） ③子ども司書活動の推進（中央図書館）</p>		<p>①おすすめ本リストの作成 ②絵本のプレゼント事業の推進 ③子ども司書活動の推進（中央図書館）</p>		<p>①おすすめ本リストの作成 ②絵本のプレゼント事業の推進 ③子ども司書活動を区立全図書館へ展開</p>

NO	002	事業	区立学校における読書活動の推進（学務課、指導室、地域教育力推進課）		
内容	<p>図書や読書活動に専門的な知識やスキルをもつ司書を小・中学校全校で継続配置することで、児童・生徒への読書指導や学習支援、教職員への授業支援を行うことができ、学校における読書活動の活発化をめざします。</p> <p>また、小・中学生、保護者付添の幼児に対し、学校休業日の学校施設を有効活用し、学校図書館を地域に開放することにより、読書を通じた人々の交流と読書に親しむ場を創出します。</p>				
年度	令和8年度		令和9年度		令和10年度
別 計画	<p>①司書の小・中学校への配置日数を週3日に拡充 ②学校図書館地域開放の実施</p>				

NO	003	事業	知の拠点としての図書館の充実（中央図書館）		
内容	区民が豊かな時間を過ごすことのできる読書空間をめざし、魅力ある資料の充実、快適な読書環境の整備を行います。また、電子図書館の利用促進のため、電子書籍の資料充実と情報発信を行います。				
年度別	令和8年度		令和9年度		令和10年度
計画	①地域図書館の改修工事実施（照明LED化2館、トイレバリアフリー化1館）など、施設整備 ②蔵書計画に基づく選書・購入・除籍 ③電子図書館の利用促進（各図書館掲示・展示・HP掲載）		①地域図書館の改修工事実施（照明LED化1館、トイレバリアフリー化1館）など、施設整備 ②蔵書計画に基づく選書・購入・除籍 ③電子図書館の利用促進（各図書館イベント活用）		①地域図書館の改修工事実施（照明LED化1館※全館完了、トイレバリアフリー化1館）など、施設整備 ②蔵書計画に基づく選書・購入・除籍 ③電子図書館の利用促進（図書館外、地域でのPR）

NO	004	事業	本を通じた交流と活動が生まれる場の創出（中央図書館）		
内容	本に親しみ交流と活動が生まれる場の創出をめざし、あらゆる人が楽しめるイベントなどの実施、身近な地域で本にふれあう機会の提供、及びその活動を支える人材の育成を行います。				
年度別	令和8年度		令和9年度		令和10年度
計画	①絵本を活用した「絵本のまち板橋」推進事業の実施 ②図書館利用促進事業の実施 ③サポーターの育成、活躍の場の拡大				

## コラム⑬：生涯を彩る読書の旅

## (MIRAI SCHOOL いたばし -子ども読書活動2030-)

読書は、人生のあらゆる段階で私たちの成長を支え、心を豊かにしてくれます。

子どもの読書習慣の形成と自主的な読書活動の実現をめざし、「MIRAI SCHOOL いたばし -子ども読書活動2030-」を策定しています。

読書体験は年齢とともに変化し、深まっていきます。乳幼児期の「はじまりの感動」から、小学生の「知る喜び」や「思考力」の発達へ、そして彩り豊かな様々な本と出会う読書の旅は大人になっても続いていきます。

子どもの読書活動を推進するためには、周囲の大人の関わりが不可欠です。身近な人からの読み聞かせや図書館ボランティアの活動など、様々な場面で大人が子どもの読書をサポートします。

また、子どもの読書を支える大人自身も、読書を通じて学び続けることで、より豊かな読書環境を創り出すことができます。

板橋区では、図書館でのおはなし会、小さな絵本館の設置、「いたばし国際絵本翻訳大賞」など、「絵本のまち板橋」としての特色ある事業を展開しています。子どもから大人まで、あらゆる区民が読書を通じて豊かな人生を歩めるよう、これからも読書活動の充実と支援に取り組んでいきます。

